

## 当事者にお越しいただいて実習授業を行いました（2024.11）

2024年12月9日

「身体障害作業療法学実習Ⅱ」（3年生後期）で脊髄損傷の方にお越しいただき、身体の機能（筋力や関節の動く範囲）検査・測定や、日常生活についてのインタビューを行いました。

これまで、学生や健常高齢者の方を対象に経験を積んできましたが、日常的に車椅子を手放すことができない脊髄損傷の方は初めてでした。検査や測定の難しさを経験し、日常生活での困りごとについて教えていただくことができました。



改造した車両を乗り降りする様子を見学しました



手首の関節の動きを関節用の分度器を使って測定しました。



肘の関節測定には専用の大きな分度器を使用します。取り扱いがなかなか難しい



物品の操作時間や手の使い方を測定しています

※写真の掲載にあたっては、当事者の方の了承を得ています。